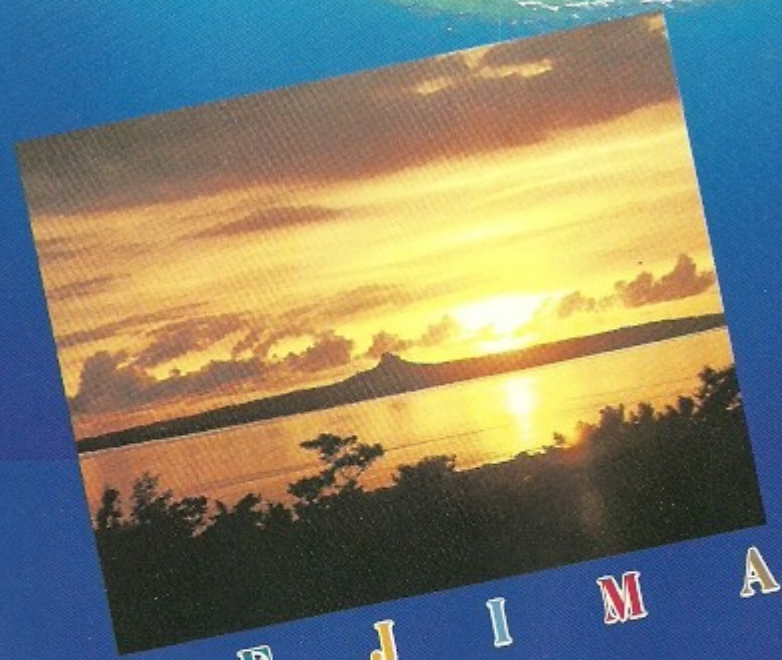


Information on transportation to le Island  
伊江島への交通ご案内



# 沖縄 伊江島



I E J I M A

for inquiries about the trip to Iejima

伊江島の旅のお問い合わせは

伊江村役場・Ie-Mura Board office ☎ (0980) 49-2001(代)

伊江村観光協会 ☎ (0980) 49-3519

Ie Village Tourism Office



## Traveling to le Island

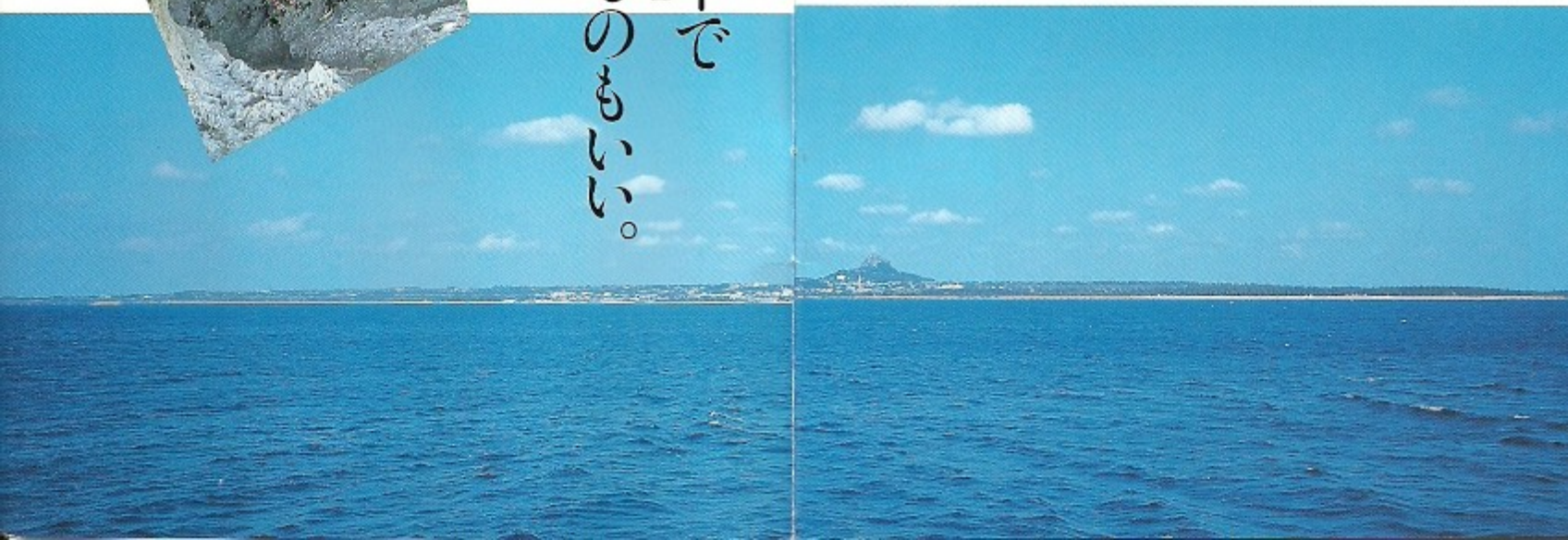
### 伊江島への旅ごあんない

那覇から伊江島行きのフェリーが出る本部港まで、車をとばす。名護をすぎて本部半島にかかる頃から左手前方のエメラルドグリーンの海につばの広い帽子が浮かぶ。白い砂浜が、まるでつばのふちどりのようにくっきりと線を描いている。中央に城山が、屹立ち、まわりは、緑におおわれた平地、何か一種不思議な感じを抱く。フェリーは、村営と聞いた。船は、碧く広がる海を、右に海洋博が開かれた備瀬を見ながらすすむ。沖合にアクアポリスがうかび、国営沖縄記念公園として人々に親しまれているこの地は、カラフルな装いがこらしてある。城山(イエジマタッチュー)は、そばから見ると岩の塔のような感じ、その昔、航海の安全を祈るためにこの山が、重要な役割を果たしたという。島の北と南では、これほどちがうのかと、思われるほど海岸線が異なる。北部は、湧出で知られる断崖絶壁である。あちこちに隆起珊瑚礁が見られ、その中で色々の草花が咲き乱れる。ダイビングや釣り客が、多いと聞いた。それもそのはず、この強烈な太陽とどこまでも碧くすきとおる海のまっただ中にいたら、誰でも海へと駆りたてられるにちがいない。青少年旅行村があると聞いていたので、行ってみた。道端には木麻黄の木が植えられ、涼しい木陰をつくる。木麻黄並木が、はてしなく続く、この道がサイクリングコース、島を一周する。旅行村も木麻黄の中にある。木麻黄林の中に散歩道が作られ、小鳥があちこちでさえずる。散策ししゃれこむ若い人々がいっぱい。キャンプもできる。林をぬけると、白い砂浜と碧い海が広がる。海水浴には最適。泳ぐその下を、魚がすくるとぬける。白い波と魚。海とたわむれていたら時間も忘れてしまえそう。このビーチの目の前が、沖縄記念公園である。伊江島を散策してみて緑の多いことに驚かされる。城山の頂上からの展望も、田園風景が展開する。昔から米作以外は何でもできるとのこと。昔から豊かな島なのである。伊江島の30%は、軍用地に接収されていると聞いたが、島の人々にはそういう暗さはない。人情味豊かなもてなししてくれる。島の心が伝わってくるのであろうか。

自然の中を、光のシャワーで

Walking through nature in a shower of light

散歩するのもいい。





こんがり娘がキラッと光る!!



### 伊江村青少年旅行村

島の東側、サンゴ礁が発達したビーチの細長い砂浜に沿って、みごとなモクマオウの林が広がっている。ここが青少年旅行村。沖縄では、数少ない旅行村の一つだ。およそ4万坪の敷地には、中央管理棟、遊歩道、テニスコート、野球場、ゲートボール、キャンプ場、屋外ステージ、共同炊事場、シャワー室、トイレなどの施設が備えられている。数万本ものモクマオウ林の中を遊歩道が通り、小鳥があちこちでさえずる。モクマオウ林の中には、キャンプ場。そしてビーチには、各種の設備が設けられ、海のレジャーが思うぞんぶん満喫できる。また隣りにはB&G財団伊江海洋センターの体育館・プールがある。

港から車で5分、徒歩30分

### MEMO

管理棟 TEL.(0980)49-5247(4月~9月)  
後 場 TEL.(0980)49-2001(10月~3月)

- 旅行村入場料：大人100円 小人50円
- キャンプ場使用料：大人300円 小人200円
- 貸テント：4人用(1,000円) 5人用(1,300円) 6人用(1,500円)
- シャワー使用料：100円
- レンタサイクル：1時間200円(30分毎に100円増)、1日で1,000円
- ビーチパラソル：1,000円



# ENJOY MARINE PLAY



# 伊江島の名所・旧跡を たずねて!

Sights of Iejima -  
Inquire about the  
historic sites

## Shiroyama (Gusuku Yama) 城山(ぐすくやま)

イータッチューの呼び名で親しまれている島唯一の山で、海拔172メートル。島の中央、やや東よりにそびえ、見る角度によって険しき、なごやかさ、あたたかさすら抱かせる。昭和28年に沖縄八景の第一位に選ばれ、昭和53年には沖縄新観光名所に選定されたほど、城山からの眺めは絶佳。

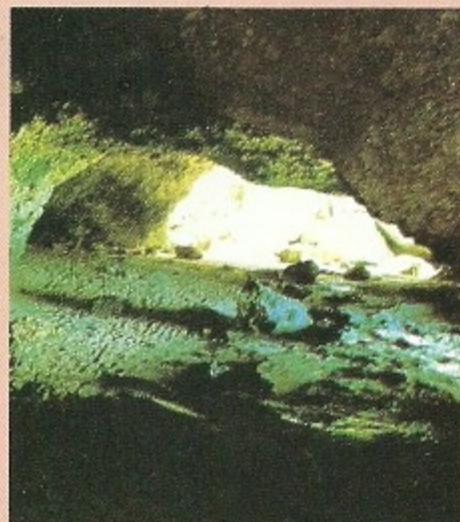
港から車で10分、徒歩で40分



## Shimamura Shrine Tourism Park 島村屋観光公園

史実にもとづいた伝説として、有名な恋愛物語  
°伊江島ハンドゥー小°の舞台となった島村  
屋の屋敷跡にある公園。民具館やハブ園、  
当時をしのぼせる民家、ハンドゥー小の石像  
などが復元されている。TEL. (0980)49-2422

入園料 大人300円 小人100円  
港から車で10分、徒歩で30分



## Niyatiya Cave ニヤティヤ洞

昔から子宝に恵まれない女性  
が、この洞にある「力石」を  
もちあげると願いがかなえられ  
るという伝説が残っている。戦  
時中は、村民の防空壕に利  
用され、多くの人々を収容し  
たことから「千人洞」ともよば  
れている。旧暦3月には、ノロ  
(神女)と女性のみ祭りがある。  
(ここは、拝所だからキャ  
ンプはできない)。

港から車で10分、徒歩で45分



## 涌出(ワジー)

60メートルの断崖絶壁がちな北海岸に位置  
し、そこからの眺めは、潮の干満や天候などによっ  
てさまざまに変化し、干潮時にはサンゴ礁に集う熱  
帯魚の乱舞も見られ、天然の°水族館°というこ  
ろで絶景を極めている。崖下まで道路がのびてい  
るから格好のドライブコースにもなっている。ここは海  
中から真水が湧き出ており、島の貴重な水源地と  
しても活用されている。

港から車で15分、徒歩で60分



# 語りつかぬ島の歴史



**Toshinobu Tower**  
芳魂之塔

大戦中、激烈な戦いによって戦死した村民、軍人3,500余人の霊を弔うために建立されたもので、毎年4月21日に平和祈願祭が行なわれる。碑には、島の生んだ歌人・名嘉元浪村の詠んだ次の歌が刻まれている。

ひねもすを とどろとどろと潮騒の  
声をまくらに ここだも 眠れる霊の  
夢まどかならむ。

港から車で5分、徒歩で30分

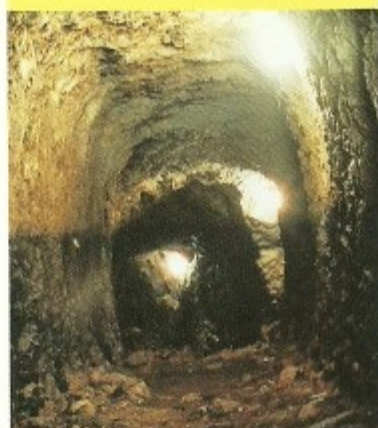


**Ernie Pyle Memorial**

## アーニーパイル 記念碑

第二次大戦中、米軍の従軍記者として有名だったアーニーパイルの慰霊塔。毎年4月には在沖米人らが参列して慰霊祭が行なわれている。

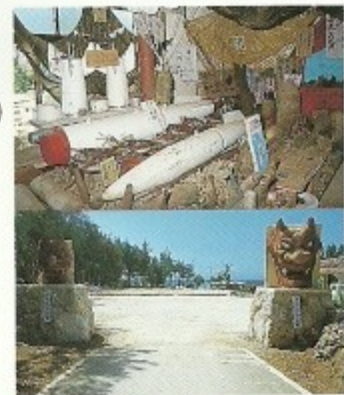
港から車で5分、徒歩で10分



**Japanese army site (Kawahira)**  
日本軍陣地跡(川平地内)

大戦中の独立混成第44旅団第二歩兵隊第三中隊、第二小隊壕(兵隊数50名、構築、昭和20年1月)壕内は奥行約30m、岐穴2カ所残存している。

港から車で10分、徒歩で30分



Warabi Ai no Sato

## Peace Memorial Museum

### わびあいの里

- 反戦平和資料館  
スチドゥタカラ(生命どう宝)の家
  - 福祉施設  
やすらぎの家
- わびあいの里正門の鬼面には反戦平和の願いが込められている。  
(伊江ビーチ隣り)  
TEL.(0980)49-3047

港から車で10分、徒歩で30分



**公益質屋跡**(史跡・村指定 昭和52年12月4日)

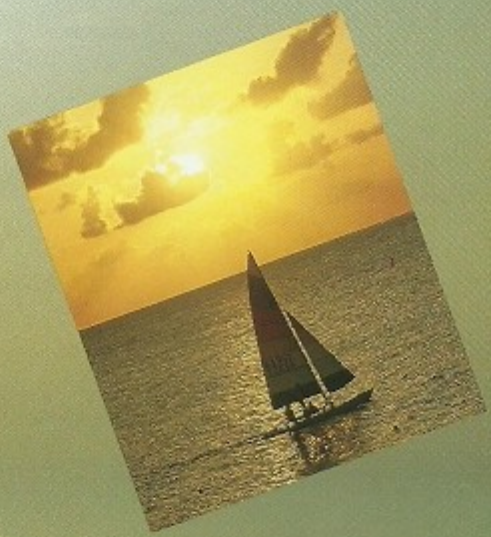
個人高利貸の暴利に泣く貧民を救う唯一の村営福祉制度の一環として造られ、村民の金策機関として丁重がられた。第二次大戦の悲惨な攻撃を受け、本村の建物はことごとく焼き払われかろうじて原形を保っているのは本建物のみで、戦争遺物としては唯一のものである。また当時の建築技術を知るうえからも貴重である。

港から車で10分、徒歩で40分



Tropical Sunset

トロピカルサンセット





# 名所・旧跡

## 城山(くすくやま)

イータッチューの呼び名で親しまれている島唯一の山で、海拔、172メートル。島の中央、やや東よりにそびえ、見る角度によって険しさ、なごやかさ、あたたかさを袍かせます。昭和28年、琉球新報社の提唱する「沖縄八景」の読者選定で、みごと一位に選ばれたほど、イータッチューからの眺めは絶佳。

**城山御旗** 中腹の木々がこんもり繁ったところに石段があり、その奥は城山御旗です。遠く王朝時代から航海の道しるべになっていたのがイータッチューで、航海の安全と健康、豊作祈願がおこなわれてきました。戦前、ヤマトのぼりや出征兵士の旅立ちの時には、家族の人たちはタッチューにのぼり、御旗の前で火を焚き、煙を見送りの合図にしたものでした。また、婦人たちは鼓を叩いて航海の無事を祈ったのです。

昭和44年、伊江航路の安全を祈願して社が建立されました。

**小林宜島歌碑** 御旗の左側、木の間がくれにひそやかに建っているのが寂島の歌碑です。本名・島袋俊一(1902-1965)は、伊江島が生んだ歌人三兄弟の一人で、晩年は琉球大学の学長という要職にあった教育者でした。農学博士としての業績でも知られていますが歌碑に刻まれたつぎのうたも、ふるさとをこよなく愛し、イータッチューからの景観をあかず眺めた「城山讃歌」として広く知られています。

「遠き山もあたりに生うる緑葉も その座を占めて海と照り合う」

**皇太子殿下御歌碑** 伊江島とは指呼の間にある本部半島で、沖縄国際海洋博覧会が開かれたのが昭和50年7月。翌51年1月、閉会式御出席のため再び沖縄を訪れた皇太子殿下ご夫妻は、伊江島を会場と那覇の間の中継地としてお立ちになりました。そしてあわただしい御滞在の合い間をぬって、イータッチューからの眺めを讃嘆され、同時に、かつて3500余の生命を奪った「戦世」のことに思いをさせられたに違いありません。

おそらくは、皇太子殿下がおつくりになったはじめての琉歌ということになりましたが、後日、つぎの歌を村民に贈られました。

「広がゆる畑 立ちゆる城山 肝のしのぼらぬ 戦世の事」

伊江村の人びとは、この御歌にいたく感激、またたく間に120万円の歌碑建立費がよせられました。広場中央に、記念碑とともに本部半島に向けて建てられています。

## ニヤティヤ洞(千人洞)

川平部落の西側、アキナ原にある洞窟です。戦時中は村民の防空壕に利用され、多くの人々を戦火から守ったことから「千人ガマ」ともいわれるようになりました。昔から子宝に恵まれないご婦人は、このニヤティヤ洞を訪れ、洞内にある石石を持ちあげると、その年から願いがかなえられるという伝説があります。

旧暦3月には、ノロ(神女)と婦女子のみのお祭りが、この洞窟でおこなわれていました。

## 湧出(ワジー)

北の海岸は、屹立する岩場のつらなり、くだける波しぶきの音などいかにも男性的な景観をくりひろげますが、その代表的なところがワジーと呼ばれる湧出です。真水が湧き出て、本島からの海底送水が実現するまでは、島の重要な水源地だったことから、この名がつけられたのでしょう。60メートルを超える断崖絶壁がつらなり、潮の干満や天候などによって変化し、波湧うす巻くさまは一大パノラマを思わせます。

絶壁下の水源地までアスファルト道路が敷かれていますので、スリル満点のドライブが楽しめます。このあたりはかっこうの釣り場にもなりますが、干潮時にはサンゴ礁に集く熱帯魚の乱舞がご覧になれ、天然の「水族館」というところ。また、島ならではののどかな風景があなたの心をなごませることうけ合いです。

## 島村屋観光公園

伝説と民具の里・島村屋観光公園は、沖縄芝居で三大悲歌劇の一つとして有名な「伊江島ハンドウ小」由来の地です。

イータッチューを信景したいかにも奥ゆかしさを感じさせる屋敷跡が、たくみに生かされています。伊江島を訪れる人は、きまってこの観光公園を訪ね、島のロマンにひととき、耳を傾けるのです。

## 芳魂之塔

第二次大戦で戦場となった伊江島で、軍人2000人、村民1500人の犠牲者を出しました。その3500余柱を合祀しているのがこの芳魂之塔で、毎年4月21日には村内外の遺族が参列してしめやかに平和祈願祭がおこなわれています。

塔の立っている地は日本軍が立てこもったところです。そこから150メートルの現在の伊江中学校には、米軍が上陸して陣取り、手榴弾を投げ合う肉弾戦を2日間におたって演じた激戦の地でした。しかも、日本軍は死闘の結果、全員玉砕という痛ましい記録も残されています。

塔の台座には、これも島の生んだ歌人・名嘉元浪村の詠んだ  
「ひねもすを とどろとどろと潮騒の 声をまくらにここだくも

眠れる雲の 夢まどかならむ」

の歌が、伊是名正信氏の揮毫で刻まれています。

## アーニー・バイル記念碑

アメリカが生んだ、世界的に有名な従軍記者、アーニー・バイルは、昭和20年4月18日、伊江島に上陸した米第305連隊と行動を共にして取材中、日本軍の機関銃に射たれて戦死しました。遺体はヘルメットをかぶせたまま粗末な木の十字架の下に埋められ、のちに沖縄本島の陸軍墓地、そしてホノルルのパンチホール・クレーターにある国立墓地へ移されたということです。そして、戦死の地に、米軍の手によって建てられたのがこの記念碑で、毎年4月18日前後の日曜日には、在沖米人らが参列して慰霊祭がとりおこなわれています。

## 日本軍陣地跡(川平地内)

戦争遺物として昭和59年9月に復元され、境内は奥行約30m、幅6.2m所残存している。大戦中の独立混成第44旅団第二歩兵隊第三中隊、第二小隊壕(兵隊数50名、構築、昭和20年1月)



# IEJIMA INFORMATION

## 情報

### ●位置・地勢と特徴

沖縄本島の北部、海洋博が開かれた本部半島から北西へおよそ9kmに位置した一島一村の離島、それが伊江島です。北海岸は約60mの絶壁で、南側にかけてゆるやかに傾斜し、南海岸はほとんど砂浜です。島の中央部に、海拔172mの古生代チャートの城山(グスクヤマ)があります。その山麓から海岸にかけては平地で島の総面積は22.88km<sup>2</sup>、人口約6,000人、年間の平均気温が22度という亜熱帯の島です。

### ●伊江島観光案内所 ☎(0980)49-3519

#### ①ホテルヒルトップ

伊江村字東江上155 ☎(0980)49-2341(代)

#### ②ホテル海城

伊江村字川平121 ☎(0980)49-2118-3247

#### ③江の島観光ホテル

伊江村字川平58 ☎(0980)49-2037-2242

#### ④伊東ホテル

伊江村字東江前107 ☎(0980)49-2350-2043

#### ⑤伊江島観光旅館・かりゆし食堂

伊江村字川平345 ☎(0980)49-3045

#### ⑥民宿 かびら

伊江村字川平112 ☎(0980)49-2702

#### ⑦民宿 上間

伊江村字川平501 ☎(0980)49-3040

#### ⑧民宿 さんご荘

青少年旅行村内 ☎(0980)49-5248

#### ⑨民宿 ハワイ

伊江村字川平136番地 ☎(0980)49-2477

#### ⑩民宿 ぎぼ

伊江村字川平351 ☎(0980)49-2229

#### ⑪民宿 下門

伊江村字川平337-1 ☎(0980)49-2821-3241

#### ⑫民宿 みなみ

伊江村字川平350 ☎(0980)49-2910

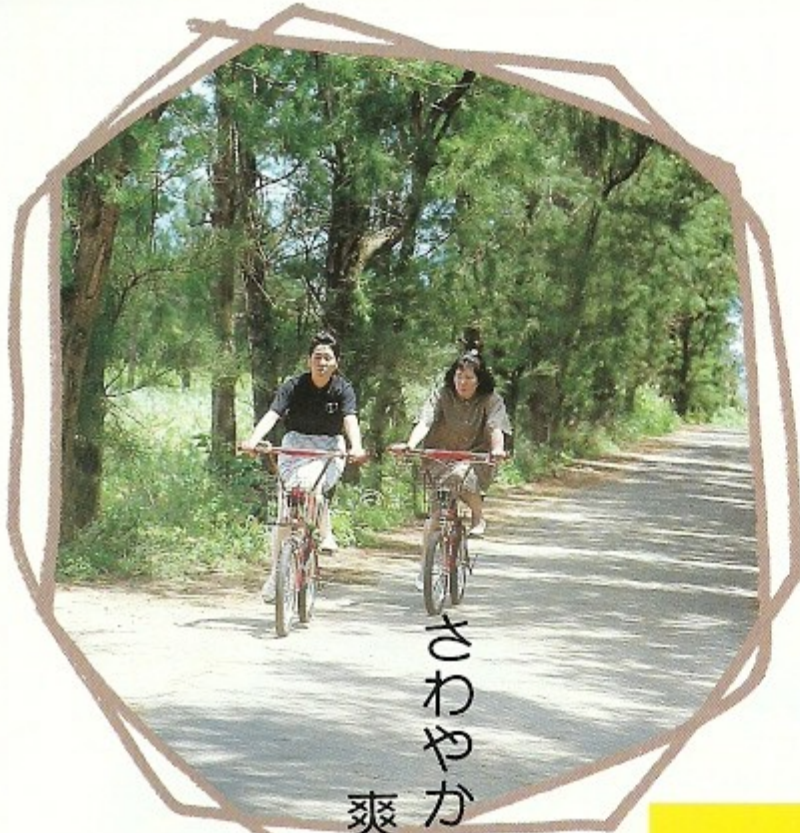
### 伊江島観光案内図 ▼



### ●観光コース

- ④島村屋観光公園—⑧芳魂之塔—③ニヤティヤ洞—
- ①アーニーパイル記念碑—⑥伊江島空港—⑤ワジー—
- ②ミナト海岸—⑨の化石—⑩城山(ぐすくやま)—⑦青少年旅行村。





さわやかな風をうける  
爽快感がたまらない。

**サイクリング**

島を一周するサイクリング道路。その道路脇にはズラリ立ち並ぶモクマオウ、そのモクマオウ並木の中を涼しい海からの風をいっぱいうけて走るの最高の気分だ。とくに、城山の北に位置するモクマオウ並木は、昭和46年に全沖縄並木コンクールで一位に選ばれたほだみごしな並木を形づくっている。

**MARINE SERVICE**

すきとおる海は、伊江島の大きな魅力。エメラルドグリーンに輝く海が、真白い砂浜とあざやかなコントラストをつくり出す。碧いベルベットをしきつめたような海、サンゴ礁にくだける白い波、波間に乱舞する光、海は、あくまでも美しく、すばらしい。

フィンと水中めがねで、ちよっともぐってみよう。海の中をのぞけば、そこは、もう別世界。サンゴ礁の海は、生物の宝庫だ。サンゴの間であそぶ熱帯魚、さまざまな生物が、この美しい海の住人たち。カラフルな魚たち、ともだちになってみないか。

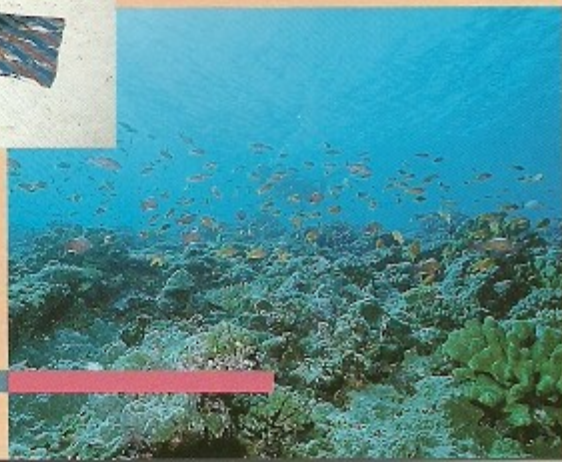


**<ダイビングガイド>**

- **スポーツサービスDAIJISダイブズ**  
伊江村宇東江前266番地 ☎(0980)49-5930
- **大洋ダイビング**  
☎(0980)49-2033  
大洋つり具店(釣船・釣具・エサ各種)  
☎(0980)49-2221
- **伊江島ダイビングサービス**  
☎(0980)49-2168



お魚ともだちになろう





# 年中行事

ハリュウ船▶



**海神祭**  
旧暦5月4日豊漁祈願祭のあとに行なわれる。

◀沖縄角力

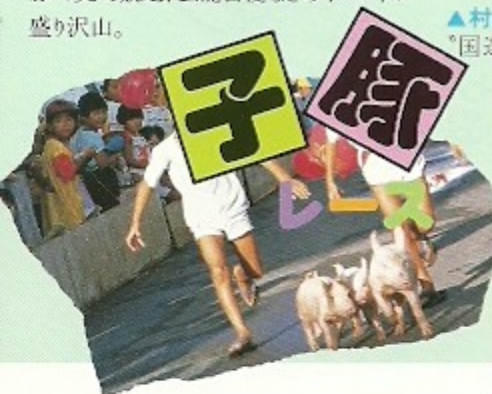


毎年8月上旬に催される伊江島商工まつりは、各地から訪れる人々や、帰省客で大にぎわいを見せる。ちびっこ角力大会や、子豚・あひるの競走、芸能自慢などのイベントが盛り沢山。



▲村踊り  
\*国選択の無形民俗文化財\*

## 伊江島商工まつり



エイサー/エイサーの囃や三味線、小太鼓が奏でるリズムが独特。

## 特産品



▲土産品



▲村花(テッポウユリ)

# 交通のご案内



## ●島への交通

沖縄の表玄関、那覇から名護までバスで約2時間、名護から本部周りのバスで約30分かかります。本部港で下車していただくと、村営のフェリーがお待ちしています。そのカーフェリーが、30分であなたを伊江島におつれします。

- 船賃(片道)大人/570円 小人/290円
- 船賃(往復)大人/1,080円 小人/550円(本部港)

- 伊江村カーフェリー運航時刻表(伊江-本部間の所要時間30分)
- 運航時刻(A表) ■(B表) 7月21日~8月31日の2日間

航海	伊江発	本部発	航海	伊江発	本部発
1	8:00	9:00	1	8:00	9:00
2	10:00	11:00	2	10:00	11:00
3	13:00	15:00	3	12:45	13:40
4	16:00	17:00	4	14:30	15:30
			5	16:30	17:30

## ●自動車運送運賃表

車種(車種全長)	料金
自転車	520円
オートバイ	670円~850円
軽乗用車(3m未満)	2,160円
普通乗用車(3m~4m未満)	2,680円
大型乗用車(4m~5m未満)	3,400円
マイクロバス(5m~7m未満)	5,660円
大型バス(7m~12m未満)	9,990円

## ●船便のお問い合わせ先

伊江 / ☎(0980)49-2255・2339  
本部 / ☎(0980)47-5627

## ●村内バス

伊江バスが一手に引受けています。お問い合わせは電話(0980)49-2053へ観光バスの貸切りもできますが、定期観光バスはありません。

島内での交通は、バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルが主。効率よく見るにはタクシーが便利。時間の余裕があればレンタサイクルが最高。

## ●タクシー(名)伊江交通

伊江村字東江前464 ☎(0980)49-2105・2019

## ●(貸車・オートバイ・自転車)三葉レンタサイクル

伊江村字川平341 ☎(0980)49-2039

